



社会福祉法人  
肝付町社会福祉協議会  
肝付町ボランティアセンター

# 望 縁 郷

vol.31  
2017

編集発行：肝付町社会福祉協議会 【やぶさめの里総合公園福祉会館内】  
TEL：0994-68-8188 FAX：0994-68-8187  
<http://www5.synapse.ne.jp/kt-syakyou/>

## 肝付町福祉会館をご利用ください



平成 29 年 6 月、肝付町福祉会館が完成しました。肝付町社会福祉協議会は福祉会館の指定管理者として、平成 29 年 7 月 4 日から福祉会館で事業を開始しています。⇒ 2P に特集記事

### ◆記事内容◆

肝付町福祉会館特集	2
会館内事業所紹介・福祉サービス利用支援事業紹介	3
平成 28 年度決算報告	4～5
社協役員名簿・赤い羽根共同募金運動にご協力ください。	6
福祉体験学習・ボランティア活動保険広報	7
平成29年度サマーボランティア	8

### 望縁郷(ぼうえんきょう)の願い!

望んでいます。地域の温かいつながり(縁)で、誰もが安心して暮らせる肝付町(郷)であることを!

ボランティアや福祉活動を、気軽に楽しく(エンジョイ)、今日(キョウ)から始めて頂きたいと願っています!

この「望縁郷」が故郷肝付町と町外の肝付町出身の方との望遠鏡(ぼうえんきょう)になれば願っています!

この情報誌は、共同募金の助成を受けて発行されています。

やぶさめの里総合公園に、町民の福祉の増進を図るとともに、町民が互いに支え合い、助け合うまちづくりを進めるため、7月に肝付町福祉会館が開館しました。福祉会館では、高山子育て支援センター『ちゃいるどはうす』並びに肝付町社会福祉協議会が福祉事業をおこなう他、町民の皆さんが集会や研修等に利用することができます。

## 肝付町福祉会館の利用について

開 館 日：平日（土・日曜日 祝日 12月29日～1月3日は原則として休館）

開 館 時 間：午前8：30 ～ 午後5：00

利用可能設備：大・中・小会議室 ・ 多目的室

利 用 料：無料

※柔軟に対応いたしますので、ご相談ください。

### 施設紹介

#### 大・中・小会議室（最大定員 70 名）



10 名～ 15 名程度まで利用できる小会議室と 50 名程度まで利用できる大会議室があります。パーティション（しきり壁）を収納することで、最大 70 名までの会議利用が可能です。

#### 多目的室



レクリエーションや障がい者スポーツ等に利用できます。車イス等での軽スポーツにも利用可能です。

#### その他の施設（事業用ですが、利用を希望される場合は相談してください）



フリースペース



相談室（2室）



ボランティア団体室

#### ☆注意事項☆

○あらかじめ電話で空き状況を確認してください。他の団体等の予約が入っている場合は利用できません。

○事前に「使用許可申請書」を提出してください。様式は館内社協事務室にあります。

○福祉等以外の目的外での使用、営利目的での使用はお断りします。

○使用後は元の状態に整理整頓し、使用日誌を記入してください。

○あらかじめ指定した場所以外での飲食はしないでください。

○全館禁煙です。またゴミ等は全て持ち帰ってください。

# 肝付町福祉会館で実施している主な福祉事業

## 肝付町社会福祉協議会が実施している事業

### ○地域福祉事業

- ・安心バトン事業 ・見守りマップ作成に関する事業
- ・福祉世帯表整備事業 ・ボランティアセンター事業
- ・災害支援にする事業

### ○日本赤十字社肝付町分区

### ○共同募金に関する業務（赤い羽根、歳末助け合い）

### ○在宅福祉アドバイザー関連事業 ○心配ごと相談事業

### ○福祉サービス利用支援事業 ○福祉資金に関する事業

### ○訪問介護・介護予防等事業（ホームヘルパー）

### ○障がい者等の支援・居宅介護事業 ○訪問入浴サービス事業（入浴車）

### ○居宅介護支援事業（ケアプラン作成）

### ○在宅介護支援センター・包括支援センター

## 契約スタッフ募集

地域福祉事業のスタッフを募集します。

1. 募集人員：1名
  2. 年齢等：不問
  3. 資格：社会福祉士（主事等）
  4. 応募：履歴書（市販）を記入して社協事務局に提出してください。※12月27日（水）正午まで
  5. 雇用期間は、平成30年3月末までの予定ですが、詳細は、事務局人事担当へお問い合わせください。
- 事務局：津代、矢野【68-8188】

## 高山子育て支援センター「ちゃいるどはうす」が実施している事業

### ○子育て支援事業

- ・育児相談 ・子育て関連情報の提供 ・親子の交流活動（遊ぼう会・育児サークルの支援など）
- ・育児講座等の実施

### ○一時預かり事業 ○赤ちゃん訪問事業

## 福祉サービス利用支援事業をご存知ですか？

### こんな事でお困りの方を応援します。

認知症や知的障害、精神障害等により判断能力が不安な人に対して、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理を行う事業です。福祉サービスの利用の仕方がわからなかったり、預貯金の出し入れなどにお困りの方や、日常生活を営むうえで、いろいろな手続きを適切におこなえないため不安を抱えている方を対象としています。



### サービスの内容

#### ①福祉サービスの利用の援助 ②日常的な金銭管理の援助 ③通帳・印鑑のお預かり

福祉サービス利用支援事業は、福祉サービスを利用する際のさまざまな手続きや契約、預貯金の出し入れ、生活に必要な利用料などの支払い手続きや、年金や預貯金通帳など大切な書類の管理などをお手伝いします。

安心してご利用いただくためにご利用者と社会福祉協議会とが利用契約を結び、計画に沿った支援をおこないます。

### 相談は無料、サービスは有料です。



相談や支援計画の作成にかかる費用は無料です。福祉サービス利用手続き、金銭管理などのサービスを利用する際は料金がかかります。※利用料は、1回（30分～1時間程度）の支援について1,200円です。生活保護受給中は無料です。

ご相談・問い合わせは…肝付町社会福祉協議会（68-8188）まで



## 平成28年度決算報告

## 資金収支計算書

(単位：円)

事業活動による収支		
収 入	会費収入	2,576,250
	寄付金収入	2,089,680
	経常経費補助金収入	17,689,054
	受託金収入	19,181,195
	貸付事業収入	480,000
	事業収入	452,700
	負担金収入	10,441,000
	介護保険事業収入	151,302,941
	障害福祉サービス等事業収入	9,283,341
	受取利息配当金収入	16,121
支 出	その他の収入	115,124
	事業活動収入計 (1)	213,627,406
	人件費支出	187,131,487
	事業費支出	27,228,579
	事務費支出	2,824,929
	貸付事業支出	340,000
	負担金支出	150,000,000
	事業活動支出計 (2)	367,524,995
	経常活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)	△ 153,897,589
	施設整備等による収支	
収入		0
支出	施設整備等収入計 (4)	0
	固定資産取得支出及び繰入支出	11,035,224
	施設整備等支出計 (5)	11,035,224
施設整備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)		△ 11,035,224
その他の活動による収支		
収入	その他の活動による収入	2,418,720
	積立資産取崩収入	155,000,000
	その他の活動収入計 (7)	157,418,720
支出	その他の活動による支出	8,945,280
	その他の活動支出計 (8)	8,945,280
	その他の活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)	148,473,440
予備費 (10)		
当期資金収支差額合計		0
(11) = (3) + (6) + (9) + (10)		△ 16,459,373
前期末支払資金残高 (12)		68,060,214
当期末支払資金残高 (11) + (12)		51,600,841

## 事業活動収支計算書

(単位：円)

サービス活動増減の部		
収 益	会費収益	2,576,250
	寄付金収益	2,089,680
	経常経費補助金収益	17,689,054
	受託金収益	19,181,195
	事業収益	452,700
	負担金収益	10,441,000
	介護保険事業収益	151,302,941
	障害福祉サービス等事業収益	9,283,341
	サービス活動収益計 (1)	213,016,161
	人件費	198,169,737
費 用	事業費	27,228,579
	事務費	2,824,929
	負担金費用	150,000,000
	減価償却費	3,473,256
	徴収不能引当金繰入	△ 2,000
	サービス活動費用計 (2)	381,694,501
サービス活動増減差額 (3) = (1) - (2)		△ 168,678,340
サービス活動外収支の部		
収 益	受取利息配当収益	16,121
	その他のサービス活動収益	115,124
	サービス活動外収益計 (4)	131,245
費 用		0
	サービス活動外費用計 (5)	0
サービス活動外増減差額 (6) = (4) - (5)		131,245
経常増減差額 (7) = (3) + (6)		△ 168,547,095
特別増減の部		
収 益		0
	特別収益計 (8)	0
費 用	固定資産売却損・処分損	13
	特別費用計 (9)	13
特別増減差額 (10) = (8) - (9)		△ 13
当期活動増減差額 (11) = (7) + (10)		△ 168,547,108
繰 越 活 動 増 減 差 額 の 部	前期繰越活動増減差額 (12)	56,906,413
	当期末繰越活動増減差額 (13) = (11) + (12)	△ 111,640,695
	基本金取崩額 (14)	0
	基本取崩額 (15)	0
	その他の積立金取崩額 (16)	155,000,000
	その他の積立金積立額 (17)	0
	次期繰越活動増減差額 (18) = (13) + (14) + (15) + (16) - (17)	43,359,305

## 貸借対照表


(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
	金 額		金 額
流動資産	59,962,833	流動負債	18,046,883
預貯金	23,394,673	事業未払金	4,413,137
事業未収入金	36,568,160	賞与引当金	9,684,891
固定資産	186,419,039	職員預り金	3,948,855
基本財産	2,000,000	固定負債	79,229,570
基本財産特定預金	2,000,000	退職給付引当金	70,667,760
その他の固定資産	184,419,039	退職給付引当金	8,561,810
建物	6,367	負債の部合計	97,276,453
構築物	1	純 資 産 の 部	
器具及び備品	11,509,159	基本金	2,000,000
車両運搬具	2,012,924	基本金	2,000,000
退職手当積立基金預け金	58,278,664	その他の積立金	103,746,114
退職手当積立基金預け金	8,561,810	福祉基金積立金	4,000,000
福祉基金積立資産	4,000,000	財政調整基金積立金	81,534,404
財政調整基金積立資産	81,534,404	拠点整備等積立金	0
備品購入積立資産	13,500,000	備品購入積立金	13,500,000
福祉車輛購入積立資産	4,711,710	福祉車輛購入積立金	4,711,710
徴収不能引当金	△ 16,000	次期繰越活動増減差額	43,359,305
長期貸付金	320,000	(うち当期活動増減差額)	△ 168,547,108
資産の部合計	246,381,872	純資産の部合計	149,105,419
		負債及び純資産の部合計	246,381,872

## 財産目録

平成 29 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

資産・負債の部			資産・負債の部		
1. 資産の部			2. 負債の部		
流動資産			流動負債		
(1)預貯金	23,394,673		(1)事業未払金	4,413,137	
(2)事業未収金	36,568,160		(2)賞与引当金	9,684,891	
			(3)職員預り金	3,948,855	
<b>流動資産合計</b>	<b>59,962,833</b>		<b>流動負債合計</b>	<b>18,046,883</b>	
固定資産			固定負債		
(1)基本財産	2,000,000		(1)退職給付引当金	70,667,760	
(2)その他の固定資産	184,419,039		(2)退職給付引当金	8,561,810	
建物	6,367		<b>固定負債合計</b>	<b>79,229,570</b>	
構築物	1				
車輛運搬具	2,012,924		<b>負債合計</b>	<b>97,276,453</b>	
器具及び備品	11,509,159		<b>差引純資産</b>	<b>149,105,419</b>	
退職手当積立基金預け金	58,278,664		<div>町民の皆さんからのご質問</div> <p>Q. 香典返しの寄付金って何に使われていますか？</p> <p>A. 地域のボランティア育成や福祉機器（子供用車椅子等）の貸与、小学校や中学校等への出前福祉教育や体験学習などの地域福祉事業に使われています。</p> <p>肝付町社会福祉協議会では、これからも「みんなの参加で福祉の町づくり」をキーワードに地域福祉向上に取り組んでまいりますので、皆様方のご意見などお聞かせください。</p> 		
退職手当積立基金預け金	8,561,810				
福祉基金積立資産	4,000,000				
財政調整積立資産	81,534,404				
拠点整備等積立資産	0				
備品購入積立資産	13,500,000				
福祉車輛購入積立資産	4,711,710				
長期貸付金	320,000				
徴収不能引当金	△ 16,000				
<b>固定資産合計</b>	<b>186,419,039</b>				
<b>資産合計</b>	<b>246,381,872</b>				

## 平成 29 年度予算

## 資金収支予算書

(単位：千円)

収入の部		支出の部			
①事業活動による収入 計	227,412	①事業活動による支出 計	233,167		
会費収入	2,800	法人運営事業	31,435	地域包括支援サブセンター事業	15,245
寄付金収入	2,000	生活福祉資金貸付事業	351	福祉サービス利用支援事業	1,502
経常経費補助金収入	28,785	社会福祉大会事業	864		
受託金収入	24,060	在介センター事業	7,597	②施設整備等支出 計	0
貸付事業収入	600	居宅介護支援事業	45,612	③その他の活動による支出 計	9,345
事業収入	510	訪問介護事業	84,362	④予備費	3,000
負担金収入	10,042	訪問入浴介護事業	4,029	<b>合計（①～④）</b>	<b>245,512</b>
介護保険事業収入	149,737	通所介護事業	24,798	※社会福祉協議会の会計は、「社会福祉法人会計基準」に基づき編成されていますが、ここでは分かりやすくするため、支出の部を経理区分（各事業）ごとに掲載しております。	
障害福祉サービス等事業収入	8,815	小口貸付事業	500		
その他の収入	40	共同募金事業	700		
受取利息配当金収入	23	地域支援事業	443		
		地域福祉事業	5,240		
②施設整備等収入 計	0	障害者総合支援事業	8,845		
③その他の活動による収入 計	12,597	介護予防・日常生活総合支援事業	604		
④前期末支払資金残高 計	20,600	寝具類等洗濯乾燥消毒事業	323		
<b>合計（①～④）</b>	<b>260,609</b>	くらし安全ネットワーク事業	717		

## 社会福祉法人 肝付町社会福祉協議会 新役員について

国の社会福祉法人制度改革に従い、社協役員（理事・評議員）の改選がおこなわれました。

### 役員名簿

1	理事	シモカタノ スミオ 下片野純男	2	理事	キズシ ヨシエ 切通 芳江	3	理事	マツモト カズアキ 松元 一昭	4	理事	ツネヨシ トモヒコ 恒吉 智彦
5	理事	ナカニシ ミキコ 中西美喜子	6	理事	カミムラ マコト 上村 実	7	理事	フジモト タミコ 藤元 民子	8	理事	サコウ マナブ 酒匂 學
9	理事	タカハシ テツオ 高橋 鐵男	1	監事	ヤナギタ ノリオ 柳田 紀雄	2	監事	ゴタンブ イタル 五反分 至			

### 評議員名簿

1	ナガイ タカコ 永井 孝子	2	ヤノ カズト 矢野 和人	3	ナカハラ エイコ 中原 栄子	4	ヤマシタ スナオ 山下 順	5	ジョウノオ ヤエコ 城之尾八重子
6	ヒトツマツ ジュンイチ 一松 順一	7	ウエノ ミキ 上野 美紀	8	ハラグチ イズミ 原口 泉	9	ヤマガミ ユミコ 山神由美子	10	ハマダ アケミ 濱田 明美
11	キナダ キクヨ 喜名田紀久代	12	フクモト アツコ 福元 敦子	13	マツワキ ケイイチ 松脇 圭一				

任期：平成29年4月1日～4年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

## 平成29年度 赤い羽根共同募金

今年もまた「自分のまちを良くするしくみ」をスローガンに共同募金運動の時期となりました。例年、皆様方の温かいご支援とご協力により沢山のおもいやりが寄せられており、今年度は町内18の福祉団体が昨年度の募金から助成を受け活動しています。詳しくは、6月に発行いたしました『望縁郷30号』に掲載しておりますのでご覧ください。

「赤い羽根共同募金」は、社会福祉法に定められた、県共同募金会の配分計画に沿って募金を呼びかける「計画募金」です。

### 平成29年度の肝付町的目標額

一般募金（赤い羽根）  
2,597,000円

地域歳末たすけあい募金  
800,000円

10月に各振興会長・班長様方のご協力を頂き各世帯にお願いするとともに、募金箱の設置や街頭募金などをおこなっておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

肝付町共同募金委員会 事務局 （肝付町社会福祉協議会内 68-8188）



## 福祉体験・福祉出前講座

肝付町社協では、将来の肝付町を担う小中学生に障がいや高れい者の体験をしてもらうことで、福祉に関心を持ってもらえるように町内小中学校で福祉体験学習をおこなっています。今年度はこれまでに、波野小学校・波野中学校・内之浦中学校・高山中学校・高山小学校で実施しました。12月には国見中学校でおこなう予定となっています。

### 高れい者疑似体験

重りの入ったジャケットや関節の動きを制限するひざあて等を装着し、加齢による筋力低下や不自由さを体験します。



### 車いす体験

社協から実際に車いすを持ち込み、車いす利用者の体験と車いすを押す体験をします。



### 視覚障がい体験

アイマスクを装着し、視覚障がいの体験と、視覚障がいの方の移動支援を体験します。手に持っている杖は「白杖」と言って、視覚障がいの方が歩く際に足元を確認するための杖です。



### その他の出前講座

波野小学校では学校からの要望にこたえ、手話講師を依頼した出前手話講座を開催しました。他にもご要望があれば、他の内容の講師の方などの紹介・情報提供を可能な限りおこないますのでご相談ください。



日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

平成29年度

## ボランティア活動保険

全国200万人加入!!

### 保険金額

保険金の種類		プラン	Aプラン	Bプラン
ケガの補償	死亡保険金		1,320万円	1,800万円
	後遺障害保険金		1,320万円 (限度額)	1,800万円 (限度額)
	入院保険金日額		6,500円	10,000円
	手術 保険金	入院中の手術	65,000円	100,000円
		外来の手術	32,500円	50,000円
	通院保険金日額		4,000円	6,000円
	特定感染症の補償	上記後遺障害、入院、通院の各補償金額(保険金額)に同じ		
賠償責任	葬祭費用保険金 (特定感染症)		300万円(限度額)	
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)	

### 年間保険料(1名あたり)

タイプ		プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ			350円	510円
	天災タイプ(※) (基本タイプ+地震・噴火・津波)		500円	710円

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

(※)天災タイプでは、天災(地震、噴火または津波)に起因する被保険者自身のケガを補償しますが(天災危険担保特約条項)、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

### 保険金をお支払いする主な例



### ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

### 送迎サービス補償

(傷害保険)

### 福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課  
TEL: 03(3349)5137  
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763  
営業時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)  
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

# 平成29年度 サマーボランティア

肝付町ボランティアセンターでは、青少年が福祉施設などでの体験を通じ、高齢者や障がい者への理解と思いやりの心を育み、ボランティアなど福祉活動の意欲を醸成することを目的とし「サマーボランティア」を生徒の夏休みに合わせて開催しています。今年は、生徒の自主性と地域団体との交流をテーマに、「施設ボランティア体験」「ボランティア活動団体体験」「子育て体験」の3つのコースを実施しました。

## 事前研修

事前研修では、午前中の福祉講座で「福祉」の意味について「誰もが幸せを追求できるような社会にしていこう」ということを学びました。午後は、町内の一般ボランティアの方々と一緒にアイマスク体験をしました。



## 施設ボランティア体験

「銀河の里」と「新樹学園」でボランティア活動を体験しました。「銀河の里」では、生徒が企画してデイサービス利用者の方々とレクリエーションをしました。



## ボランティア団体体験

『傾聴ボランティア ダンボの会』の方々と一緒にグループホームに傾聴（施設利用者の話を聴く活動）に行きました。また、『内之浦創星会』の方々と一緒に「うちのうら口ケット祭り」の準備と片付けをしました。



## 子育て体験講座

高山子育て支援センターちゃいるどはうすで、子どもとふれあい、赤ちゃんを抱っこしたりリズム遊びをしたりといった体験をしました。

## ボランティア体験を終えて(参加者の声)

- 「声をかける大切さを身をもって学んだ」（事前研修 アイマスク体験）
- 「おつかれさま、と声をかけてもらえてすごくうれしかった」（内之浦創星会 夏祭りの準備）
- 「お腹から食べ物を入れるところを初めて見た」（施設にて胃ろう注入を初めて見て）
- 「子どもたちのかわいい笑顔にとってもいやされました！」（子育て体験講座）